

第12回 IHE workshop in 広島

共催：第34回JPACS医用画像電子化研究会
中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT)
協賛：日本医療情報学会
後援：JSRT医療情報分科会、
日本画像医療システム工業会、
医療情報システム開発センター



Integrating the Healthcare Enterprise



IHE とは？

- IHEは、既存の規格や技術を利用して、より効率的な医療情報システムを構築することである。
- 放射線科領域の情報システム（放射線情報システムやPACS）では、DICOM規格が使用されている。病院情報システムと放射線科領域の情報システムを接続するときには、HL7の規格が用いられている。
- これらの規格を使用する場合に、規格の実装を詳細に定めているのが、IHEである。

IHEを理解するには？

- 総論は、簡単。目的は：

- IT化して相互運用性
- 効率化

を向上させる

- 各論は、種類が多く、多種多様で理解するには、努力が必要。



IHE-Jの発足 (2001.7)

- 学会、行政、工業会など各団体の連携
- ユーザ側、ベンダ側からなるオープンな組織

医療情報システム開発センター

- ◆ 医学放射線学会 (JRS)
- ◆ 放射線技術学会
- ◆ 医療情報学

2007.3 日本IHE協会

後援：経済産業省、厚生労働省
JSNM, JASTRO, 消化器内視鏡学会、日本臨床細胞学会、日本眼科学会

- ◆ 日本画像医療システム工業会 (JIRA)
- ◆ 保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)





皆様へのお願い

IHEへの関わり合い

● ユーザ

- 臨床現場の課題を解決
- 良い製品

● メーカー

- いろいろな製品を開発し、製品に反映できる
- 開発工場の短縮、リスクの軽減

日本IHE協会へ
各々の立場で
ご参加下さい。

IHE活動への参加

- 各分野での業務シナリオの作成
- 既存の規格を利用しての業務シナリオの実現
- 接続テスト
- 結果の公開・活動の広報
- 国際的な協調 など

今後のIHEの活動について
皆様のご協力をお願いします。

有限責任中間法人
日本IHE協会



内容向上
のために

アンケートにも
ご協力下さい

END

